

パウダーコーティング

2026年 新年号

Vol.26 No.1



パウダーコーティング

2026 年新年号

巻頭言

| | | |
|--------------|---|-------|
| 新年のご挨拶 | 7 | 長谷川智久 |
| 新年のご挨拶 | 8 | 高橋 正 |
| 新年のご挨拶 | 9 | 高橋 大 |

トピックス

| | | |
|--|----|-------|
| 微生物による廃塗料の資源化技術 粉体塗料・低コストでの資源化事例 | 10 | 宮崎 利久 |
| 小型耐熱データロガー V-THERMO の開発 ～塗装乾燥工程の品質確保と省エネの両立をめざして～ | 16 | 中村 圭介 |
| 塗料・塗装設備展（コーティング・ジャパン）出展レポート | 18 | 清水 慶司 |
| ABA 関西勉強会・工場見学会 | 25 | 近藤 旭 |

<組合便り他>

| | |
|------------------------------|----|
| 2026 年新年賀詞交換を開催いたしました。 | 34 |
| 東京支部見学会 | 37 |
| 後付 | 41 |

編集委員会

| | | |
|-------|--------------------------------|----------------|
| 編集委員長 | 柳田 建三（旭サナック株） | |
| 編集委員 | 壱岐 富士夫（日鉄防食株） | 妹脊 学（久保孝ペイント株） |
| | 桜井 智洋（コーティングメディア） | |
| | 八田 崇史（日本ペイント・インダストリアルコーティングス株） | |
| | 吉田 誠二（日本パーカラライジング株） | |
| 顧問 | 河合 宏紀（カワイ EMI） | |

掲載広告目次

| | |
|----------------------------|----|
| 株式会社ケット科学研究所 | 1 |
| AGC 株式会社 | 2 |
| 久保孝ペイント株式会社 | 3 |
| グラコ株式会社 | 3 |
| 株式会社小野運送店 | 4 |
| 日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社 | 4 |
| ロックペイント株式会社 | 5 |
| ナトコ株式会社 | 5 |
| 旭サナック株式会社 | 6 |
| 一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会 | 6 |
| 株式会社三王 | 29 |
| 株式会社板通 | 30 |
| 横浜化成株式会社 | 30 |
| 株式会社明希 | 31 |
| 城南コーテック株式会社 | 31 |
| 株式会社アック | 31 |
| 筒井工業株式会社 | 32 |
| 大日本塗料株式会社 | 32 |
| パーカーエンジニアリング株式会社 | 33 |

NEW 膜厚計 L-500

測定、統計、プリントアウト。
その場で完結。



| | | | |
|--------------|---|------|----|
| N= | 1 | 10.9 | μm |
| N= | 2 | 10.8 | μm |
| N= | 3 | 10.5 | μm |
| N= | 4 | 11.3 | μm |
| N= | 5 | 10.9 | μm |
| N= | 6 | 10.9 | μm |
| N= | 7 | 11.1 | μm |
| N= | 8 | 11.2 | μm |
| N= | | | |
| BLOCK RESULT | | | |
| BLOCK 025 | | | |
| Total N 20 | | | |
| Avg. 49.0 μm | | | |
| S.D. 0.3 μm | | | |
| Max. 49.6 μm | | | |
| Min. 48.4 μm | | | |

■ 印字例

測定結果や統計計算結果を
即時に印刷できます。



■ 測定例

手持ちでも平置きでも測定
しやすい形状です。

- 高精度・多機能なプリンタ搭載器
- 検量線メモリと調整データ搭載の新型プローブ
- 調整方法などを対話形式で表示する大型ディスプレイ搭載
- 統計計算機能内蔵（ブロック統計・グループ統計／測定回数・平均値・標準偏差・最大値・最小値）
- 上下限アラーム、連続／ホールド測定ほか、多くの機能を搭載

スペック詳細や使い方動画などは、コチラ



Kett

株式会社ケット科学研究所

東京本社 〒143-8507 東京都大田区南馬込1-8-1
西日本支店／北海道営業所／東北営業所／東海営業所／九州営業所
URL: <https://www.kett.co.jp/> E-mail: sales@kett.co.jp

AGC

ECO

ここからはじまるECO
塗料用フッ素樹脂粉体
実績と信頼



AGC化学品カンパニー
AGC株式会社

100-8405 東京都千代田区丸の内1-5-1 新丸の内ビルディング Tel 03-3218-5040 Fax 03-3218-7843 URL <http://www.lumiflon.com>

SINCE 1967
KING of Powder

NISSIN
Powder

国産初の
静電塗装用粉体塗料。
各種産業分野でいち早く
環境保護、省資源化に貢献。

ニッシン パウダー 粉体塗料カラーカードシステム

粉体色見本帳による
受注システム



豊富な塗色を常備在庫

ニッシン パウダー

(ソリッド色) 182色

ニッシン パウダーコートS

(特殊模様塗料) 20色

合計 202色

1カートン (15kg) よりオーダー OK

コンパクトで使いやすく、
模様見本を含め全色掲載

久保寿ペイント株式会社

本社・工場：〒533-0031 大阪市東淀川区西淡路3丁目15番27号 TEL (06) 6815-3111 FAX (06) 6323-5881
関東営業所 TEL (048) 660-1200 FAX (048) 660-1202 九州営業所 TEL (092) 411-7011 FAX (092) 411-7041
名古屋営業所 TEL (052) 261-1125 FAX (052) 261-1135 <http://www.kuboko.co.jp>



自動ガン OptiGun GA03



これまでに類のない驚異的な塗装性能
塗料の大幅削減を約束
際立った定量供給を実現
安定した塗装品質を提供
内面自動塗装の世界を変える



Gema



<http://www.gemapowdercoating.com>



グラコ 株式会社
ゲマ事業部

〒224-0025 横浜市都筑区早瀬1-27-12
TEL: 045-593-7335 / FAX: 045-593-7336



1 Kg からオーダーメイドできる粉体塗料

耐候性向上タイプ新発売！

超小口短納期調色粉体塗料

ビリューシア アルティィー カラー[®] アルファ

PERFORMANCE

- 経済的！** 1Kg から発注OK！
- 早い！** オーダー色を短納期でお届け致します
(当社通常粉体塗料よりも短納期でお届けいたします)
- カラフル！** 粉体塗料を混合しお好みの色に調色できます

QUALITY

- キレイ！** 超微粒子により塗膜外観に優れ、美しい仕上がり肌が得られます
- エコ！** 無溶剤で環境に優しい粉体塗料 RoHS 指令対応
- つよい！** 耐候性に優れています
(ビリューシア アルティィーカラー対比)



日本ペイント・インダストリアルコーティングス株式会社

〒140-8675 東京都品川区南品川 4-1-15 TEL 03-3740-1130



工業用塗料

<http://nipponpaint-industrial.com/>

47ロック[®]

超美粧性粉体塗料

推奨用途

デスク

ロッカー

配電盤・
発電機

間仕切り

什器

照明機器
など

極めて
美粧性に優れた
艶消し外観

特に
鋼製家具用途に
適合

HAA系

ヤニレスで
炉の汚染が
極めて小さい

エネルギー
コスト
CO₂ 削減

ブリッジ抑制

付き回りに
優れる

オーバーベークしても
色差・光沢の
影響が小さい

超美粧性
粉体塗料

従来品

第3世代
HAA
粉体塗料

つや消し性と
高平滑性の両立



ロックペイント 株式会社

詳しい使用方法等については、最寄りの営業所へお問い合わせください。

東京営業部 / 〒136-0076 / 東京都江東区南砂2丁目37番2号
TEL (03)3640-6000 FAX (03)3640-9000
大阪営業部 / 〒555-0033 / 大阪市西淀川区姫島3丁目1番47号
TEL (06)6473-1650 FAX (06)6473-1000

ロックペイントのホームページ <http://www.rockpaint.co.jp>

エコな粉、ええコナ

粉体塗料

エコナ®

1 ケースからの少量・短納期を実現
特長ある品種

- 薄膜・高平滑タイプ
- 低温硬化タイプ
- ヤニ臭改善型（PRTR 法対応）
- 高耐候性タイプ
- 艶消しタイプ
- ファインレザータイプ、
レザーサテンタイプ
- エッジカバータイプ



ユニークな発想で新しい価値を創造する◎

ナトコ株式会社

〒470-0213 愛知県みよし市打越町生賀山18

営業管理 TEL 0561-32-9651 FAX 0561-32-9652

支 店 中部(愛知)・東部(埼玉)・西部(大阪)・西南部(福岡)



デュアル電界方式静電粉体ハンドガンユニット

Eco Dual

AXR II-100DF・AXR II-100ST・AXR II-100FB
AXR II-200DF・AXR II-100ST・AXR II-100FB

新荷電方式＝デュアル電界方式
高い塗着効率と美粧仕上がりを両立

塗料使用量削減

塗料への帯電効率が高く、塗料使用量の削減、補正量の減少、産廃量の削減も期待できます。

仕上がり性向上

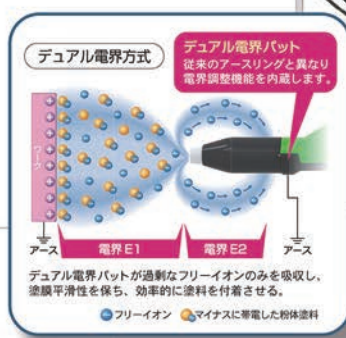
高い帯電効率を保ちながらフリーイオンの発生を抑え、平滑な仕上がり面が得られます。

作業時間の短縮

最大吐出量が約350g/minとなり、短時間でより多くの塗料を付着させることができ、作業効率が向上します。

塗料飛散抑制

新設計のインジェクタにより、従来よりも少ないエアで塗料を供給でき、吹き飛ばし等塗料の飛散を抑制します。



ECDm

豊富な
ノズルバリエーション
最適な条件で
使用可能！

ユニットバリエーション
ご用途に合わせて選択できます

- ・部分流動タイプ
- ・攪拌ホッパタイプ
- ・流動タイプ

塗装FAシステム・機器の総合メーカー
旭サナック株式会社

本社・工場 愛知県尾張旭市旭前町5050番地
TEL (0561) 53-1213代 488-8688



旭サナック HP



該当機種: EcoDual



ISO 9001 認証
JQA-2009



ISO 14001 認証
JQA-E02121



「Eco Dual」および「Ec' Coater」は旭サナック株式会社の登録商標です。

SDGsやBCPへの対応もISO認証で

LIA-AC は、公平・公正・迅速・丁寧・

親切な審査を心がけています。

プライバシーマークは、個人情報の

保護や運用の状況が適切である

事業者の証です。



指定機関(29)

一般財団法人日本エルピーガス機器検査協会
ISO 審査センター (LIA-AC)

〒105-0004 東京都港区新橋 1-18-6 共栄火災ビル 7F
TEL 03-3580-3421 (直通) / 03-5512-7921 (代表)
<https://www.lia.or.jp/lia-ac/>

プライバシーマークの審査についてもご相談ください。



新年のご挨拶



日本パウダーコーティング協同組合
理事長 長谷川 智久

謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

2025 年も皆様には当団体の活動にご理解と多大なるご支援、ご協力を賜り、心より御礼申し上げます。本年もどうぞよろしくお願い申し上げます。

さて、世界に目を向けますと、2026 年に入っても国際情勢は依然として不透明な状況が続いています。

日本国内では、新たに高市早苗 新政権が誕生し、「責任ある積極財政」を掲げた力強い経済再生と、物価高対策・暮らし支援、さらに AI・半導体をはじめとする成長産業への投資、そして経済安全保障の強化を柱とする新たな国家ビジョンが示されました。こうした国の方針は、私たちの活動や社会の安定・発展にも大きな影響を与えるものと期待しております。

一方、国際的には、米国のトランプ政権による関税政策の見直しや、米中関係の変動が世界貿易に影響を及ぼしています。

また、高市発言に端を発した中国と日本の関係の不安が高まるほか、イスラエル・パレスチナ情勢、ロシアによるウクライナ侵攻、米国によるベネズエラへの軍事圧力など、地政学的リスクの長期化や新たな発生が国際秩序に大きな影響を与えています。

経済面では、世界経済全体が成長の鈍化局面にあり、とりわけ中国経済の減速はサプライチェーンや

投資環境に広く影響を及ぼしています。最新の「世界経済見通し（WEO）」の世界経済成長率予測は、2025 年 4 月の WEO からは上方修正されたものの、政策転換前の予測を依然下回ります。世界の成長率は、2024 年の 3.3% から 2025 年は 3.2%、2026 年は 3.1% に鈍化する見通しであり、先進国は約 1.5%、新興市場国と発展途上国は 4% をやや上回る成長率になると予測している。日本の場合は、2024 年 0.1%、2025 年 1.1%、2026 年 0.6% と低成長が予想されています。世界のインフレ率は減速し続ける見込みですが、国毎にばらつきがあります。

このような激動の時代だからこそ、私たちの活動の中心となる粉体塗装は、環境負荷の低さ、塗膜性能の高さ、作業効率の良さなどから、依然として高い注目を集めています。

近年は、低温硬化型、機能付与型、再生素材との組み合わせなど技術革新が加速しており、持続可能なものづくりの実現において、粉体塗装の果たす役割はますます大きくなると見込まれます。当組合は、会員の皆様とともに情報共有と連携を一層深め、変化に強い製販装一体の業界団体として、粉体塗装の普及に一層努力することを目指します。

本年が皆様にとりまして健やかで実り多い一年となりますよう、心より祈念申し上げます

新年のご挨拶

日本工業塗装協同組合連合会

会長 高橋 正

令和8年新春を迎え謹んでお慶び申し上げます。

平素は日本工塗連の事業運営にあたり、関係省庁並びに関係団体の皆様をはじめ関係各位の格別のご支援ご厚情を賜わり厚く御礼申し上げます。

昨年は、大阪・関西万博も開催され、海外から多くの観光客が我が国を訪れました。このようなインバウンド需要の高まりの中、AIブームも追い風になり、日経平均株価がついに5万円の大台に達するなど、我が国の経済にとって活気が感じられる年となりました。しかし、欧米各国のインフレ基調の中、円安も急激に進行することで輸入原材料価格が高騰し、コスト管理が一層求められる年にもなりました。加えて、人材不足、人件費高騰など、私たちを取り巻く環境は更に厳しくなりました。

一方で、中小企業の集まりである私たち工業塗装業界も、燃料エネルギー高、材料高の影響をもろに受け、価格転嫁も追いつけず、賃上げや設備投資の原資の確保も難しいという厳しい状況に陥りました。そうした中でも、日本工塗連の各組合会社は、知恵を出し合い、絶えまぬ努力を重ねながら、経営の存続と従業員の雇用維持を図って参りました。しかしながら、取引先等でも廃業する会社も多く、各組合会社でも、資金不足、人材不足により、廃業、脱退を余儀なくされた会社も多くありました。

その中で特に厳しい人材面では、昨年、日本工塗連は特定技能1号外国人を雇用できる特定産業分野に入ることができました。これによって、技能実習制度に替わる育成就労制度、更には永住が可能になる特定技能2号に向け、人材確保の新たな局面を迎えることになりました。

また、最近、急速にAIの活用が進み、定型作業、文書作成、更にはデータベースに蓄積した情報から最適解を導き出すという作業も人に代わってコンピューターにできるようになってきました。したがって、これからの人材教育は、詰め込み型の記憶力中心の勉強、教育から問題解決や問題提起、新しい発想を

導き出す右脳型の教育、指導に重点が移り、いわば「ちょっと変人」を育てるということが求められるようになるかもしれません。

時代は大きく変わろうとしています。これまでの常識も大切ではありますが、壁を破ることを恐れてはいけません。今はそんなターニングポイントの時かもしれません。そんなに遠くない未来に、人型ロボットと一緒に働く職場が来るかもしれません。それまでに機械に置き換えができない技術、技能を持ち、人が（主）ロボットや機械（従）を操る技術を身に付けておくことが重要になります。そのためには、新しい技術を積極的に学び、効率改善を進め、より付加価値の高い仕事をするのが求められます。それにより、社員の給与も増やすことができますし、お客様からの信頼も高められ、適正価格で受注出来るようになるのではないかと思います。

昨年も、日本工塗連は中小企業の集まりである工業塗装業界の連帯を目的とした「工業塗装ともの会」座談会を継続しました。座談会では、人材確保はもちろんのこと、塗装現場でできるDX化や最新技術による塗装効率化などをテーマとして、情報、技術の共有化を図り、組合員全体の底上げを推進してきました。

また、組合員が集結する全国大会は東京、浅草で開催され、ご来賓、招待の皆様など総勢120名のご出席をいただき、華やかに開催することができました。更に、将来を担う若手後継者の集まりであるジュニア会も宮城県で開催され、意見交換会や懇親会を通してお互いの連帯を強めることができました。

最後に、本年も引き続き、各地区では、若手の塗装技術者の技能向上を目的とした塗装技能コンクールや工場見学会、勉強会など組合員の役に立つ多くの事業に取組む所存でございますので、関係官庁及び関係団体の皆様からのご支援をお願いするとともに、関係各位のますますのご隆盛をご祈念申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶

一般社団法人 国際工業塗装高度化推進会議

理事長 高橋 大

新年あけましておめでとうございます。

日本パウダーコーティング協同組合の皆さまにおかれましては、希望に満ちた新春をお迎えのことと、心よりお慶び申し上げます。日頃より IPCO の活動に格別のご理解とご支援を賜り、厚く御礼申し上げます。

IPCO は本年度より新たにミッションとして「工業塗装のさらなる高度化を図り、魅力ある工業塗装業界を創ります」を掲げました。これは技術を高めるだけでなく、業界全体が誇りを持ち、次世代人材にとって魅力あるフィールドとなるよう、構造的な価値向上を目指すものです。

近年、工業塗装業界は、脱炭素・環境対応という大きな転換点に立っています。CO₂ や VOC の削減はもはや「付加的な取組み」ではなく、事業継続そのものに直結する要件となってきました。その中であって、粉体塗装は VOC を排出せず、高塗着効率と材料ロスの少なさを兼ね備えた、極めて完成度の高い環境対応技術です。粉体塗装は、まさにこれからの時代を支える“工業塗装の中核技術”であると、私は強く感じています。

しかしながら、粉体塗装の価値が社会全体に十分伝わっているかと問われれば、まだと言わざるを得ません。CO₂ や VOC の削減をトータルライフサイクルコストでの環境負荷評価を定量的に示すことで、より強い説得力を持ちます。これからは単に「優れている」だけでなく、「なぜ優れているのか」をわかりやすく説明できることが粉体塗装の価値を高める鍵になると

考えています。

IPCO が参画するコーティング・コンソーシアム (CoCo) では、工業塗装分野における CO₂ 排出構造の見える化に取り組んできました。チェックリストやガイダンスブックは、自社の現状を把握し、改善の方向性を考えるための共通言語です。粉体塗装事業者の皆さまにとっても、自社の強みを整理し、お客さまや社会に説明するための有効なツールとして活用いただけるものと期待しています。

また、IPCO では人材育成や発注側との関係性づくりにも力を入れています。高度ポリテクセンター様と連携した「機械設計に活かす工業塗装技術」講座は、設計者と塗装現場をつなぐ新たな試みとして着実に成果を上げています。設計者が塗装を理解することで、設計段階から塗装の特性を理解したもののづくりが広がれば、過剰品質や不合理な仕様の是正につながり、現場の負担軽減と生産性向上を同時に実現できます。

粉体塗装はこれからの環境対応社会において大きな社会的価値を持っています。IPCO としても、日本パウダーコーティング協同組合の皆さまと連携し、その価値を業界内外に発信し、次世代につなぐ役割を果たしてまいります。

本年が皆さまにとりまして、安全で実り多く、そして粉体塗装の可能性がさらに広がる一年となりますことを心より祈念し、新年のご挨拶とさせていただきます。